



平成21年9月19日（土）名城大学 Day

名城大学天白キャンパスにて

## 「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」 の「実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構は、国民にくすりを安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にもくすりのことを知っていただく講演会や体験実験を行っています。この活動では、愛知県下の薬学部生が実験を手伝い、将来薬剤師としての技能や態度を学ぶことも目的の一つとしております。こうした活動は、読売新聞の新年版にも取り上げられております。

平成21年9月19日（土）、名城大学天白キャンパスにて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」の「実験講座」を下記の内容で開催しました。当日は、名城大学の関係者のご協力により、未就学児童1名、小学生14名、中学生9名およびそのご父兄15名が参加しました。講義と体験実験は、小学生ばかりでなく、ご父兄にも大変分かり易かったと好評でした。また、実験に関わった名城大学薬学部の教員、大学院生6名、学部生31名から、特に学部学生からは、平坦な言葉で説明することの難しさを経験でき、今後の勉学に大いに役立ったという意見が多く得られました。

### 名城大学 Day における「実験講座」

日時：平成21年9月19日（土）名城大学 Day 10時～12時

場所：名城大学天白キャンパス共通講義棟北のN005教室

内容

- ・第一部「じっけん」を始める前のお話し

くすりをどのように飲んだら良くきき、副作用を防ぐことができるか、大学院生および大学生が漫画を使ってわかりやすく説明しました。

- ・第二部：「じっけん」

小学生は4グループ（1グループ4～6名）、ご父兄は2グループ（1グループ7～8名）に分かれ、お話の内容をより理解できるように、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構理事長 鍋島俊隆先生および名城大学薬学部 野田幸裕教授、飯田耕太郎準教授、間宮隆

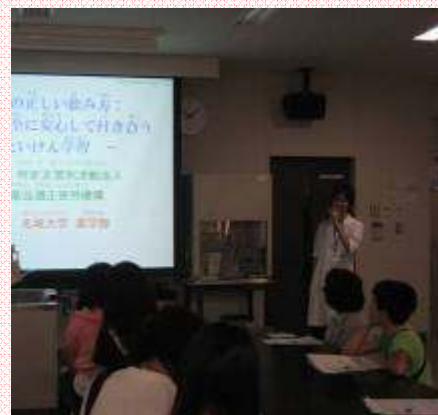
制作：名城大学薬学部病態解析学 I

（小谷悠、野田幸裕）

監修：NPO J-Do

名城大学薬学部薬品作用学

（鍋島俊隆）



吉助教の指導の下、名城大学薬学部の大学院生および学部生が小学生とそのご父兄と共に実験を行いました。

<じっけん項目>

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. 「ざやく」ってなんだろう？
3. コップ1ばいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
4. コップ1ばいの水かぬるま湯にも例外があるのを知ってる？
5. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？

